

科目名	成人看護Ⅱ (周手術期看護)				DP1、DP2 DP3、DP4	看護高等課程	
学年	1年	分野	専門分野 成人看護	時間数	15時間	担当 教員	外部講師
科目概要	手術治療・処置を必要とする対象者へ関わるためには、苦痛の緩和、効果的援助の方法、二次的影響を未然に防ぐ方法を身につける必要がある。周手術期の看護では、手術療法の理解と術後合併症の予防や回復へ向けた援助方法の理解が看護職者として重要である。ここでは、様々な健康障害における手術療法を知り、回復に向けた看護を学ぶ。						
到達目標	1. 周手術期の対象の生体反応を知り、苦痛の緩和、効果的援助の方法、二次的影響を理解する。 2. 創傷の治癒過程を理解し、創傷を管理の必要性を理解する。						
回数	単元項目		授業内容			形態	担当教員
1～2	手術療法（術前検査）		手術療法の目的、術前検査と手術の決定、術前訪問と患者状態の評価			講義	外部講師
3～4	手術療法（麻酔）		麻酔の種類（全身麻酔・局所麻酔・区域麻酔）とその施行に伴う診療			講義	外部講師
5～6	回復室での術後合併症		呼吸器合併症、循環器合併症、その他の合併症（DVT）、フィジカルアセスメント			講義	外部講師
4～7	手術療法を受ける対象の看護		術前の看護、麻酔と看護、手術侵襲と生体反応、手術室から回復室（術後ベッド）、術直後の看護、術後合併症と看護、術後疼痛管理、創傷治癒過程、早期離床への援助、胃管の管理、疾患別ドレーン類の管理			講義 演習	外部講師
			人工呼吸療法と看護、気管切開患者のケア 乳がん手術療法の看護			講義 演習	
8	試験（1時間）					試験	
評価基準	100点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。						
評価方法	出席状況と講義への参加態度、課題レポート、筆記試験などで総合的に評価する。						
教科書	新看護学 8基礎看護 [4] 臨床看護概論 医学書院 プチナース 急性期実習に使える！周手術期看護ぜんぶガイド 照林社 必要時、資料等は配布する。						
履修上の 注意点							